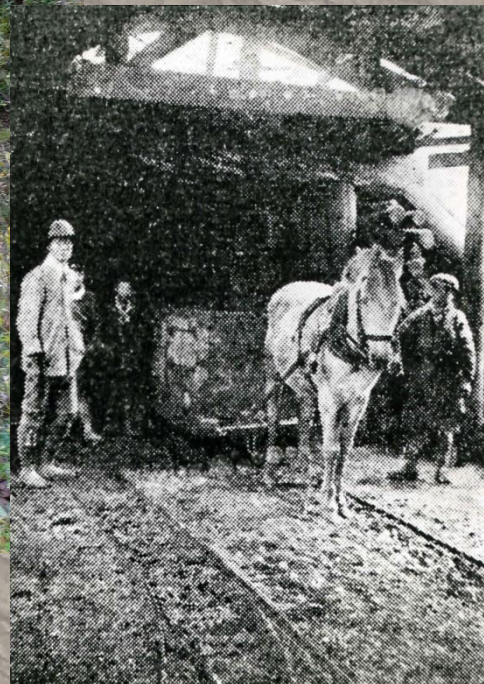


北炭幌内炭鉱音羽坑/三笠市



音羽坑から石炭を運ぶ様子
(明治末頃)

～北海道における近代炭鉱発祥の地～

1879（明治12）年、幌内炭鉱で最初に開削された坑道です。延長約700mで、当初は「大坑道」と称する採炭坑道でしたが、1896（明治29）年以降は排気坑に転用されました。大正～昭和初期になって採炭区域が次第に北側へ移行したことなどによりその役割を終え、1989（平成元）年の閉山の際にコンクリートブロックで密閉工事が行われました。

北海道での近代炭鉱の端緒となった場所として価値がある存在となっております。坑口手前には、明治後期に建設されたと推察されるレンガ造の「安全灯庫」があります。これはキャップランプなどを保管する施設で、屋根は崩落しているものの、音羽坑の歴史性を示唆するものとして貴重です。

住所	〒068-2145 三笠市幌内本沢町
公開状況	散策道上から見学可能
アクセス (自動車)	札幌から約52km 約1時間10分 【道央自動車道 三笠IC降 約12分】
アクセス (公共交通機関)	札幌から約1時間30分 JR函館本線 岩見沢駅降車～三笠市営バス 幌内1丁目バス停降車～徒歩1.4km
問い合わせ	三笠ジオパーク推進協議会 電話：01267-2-3997 E-mail：mikasa.geopark@gmail.com
URL	http://www.city.mikasa.hokkaido.jp/geopark/